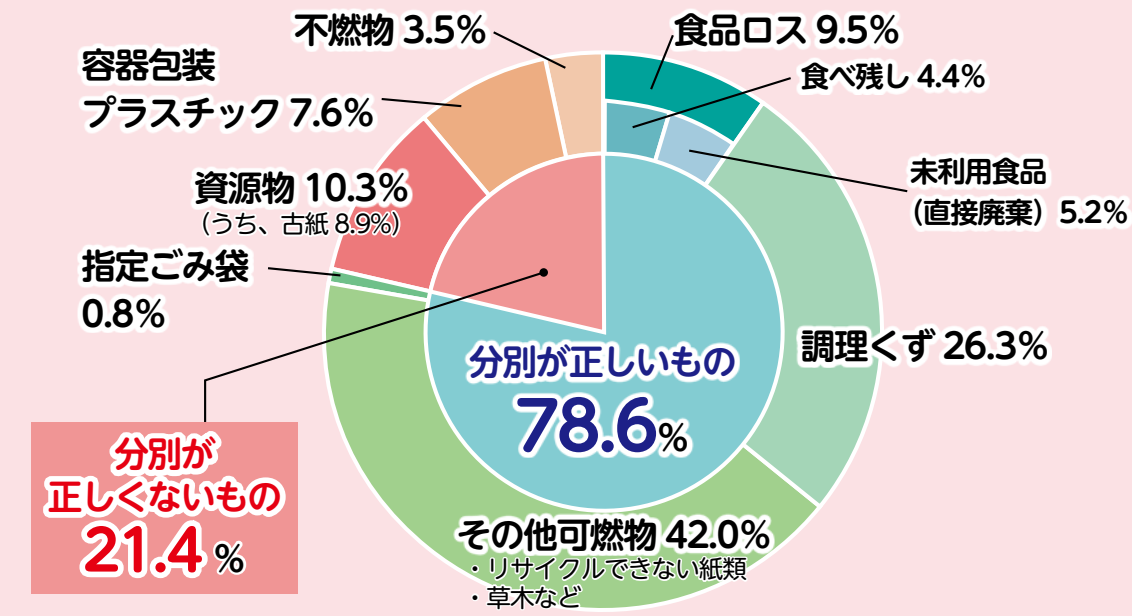
ごみの組成分析調査を行

組成分析とは？

調布市では、毎年家庭から排出される燃やせるごみ、燃やせないごみ、容器包
把握することで、今後のごみの減量・リサイクル施策の基礎資料とすることを目
※単位未満四捨五入のため、数値が一致しない場合があります。
※年間推計値は令和２年度実績から算出。

調査結果の概要

燃やせるごみ



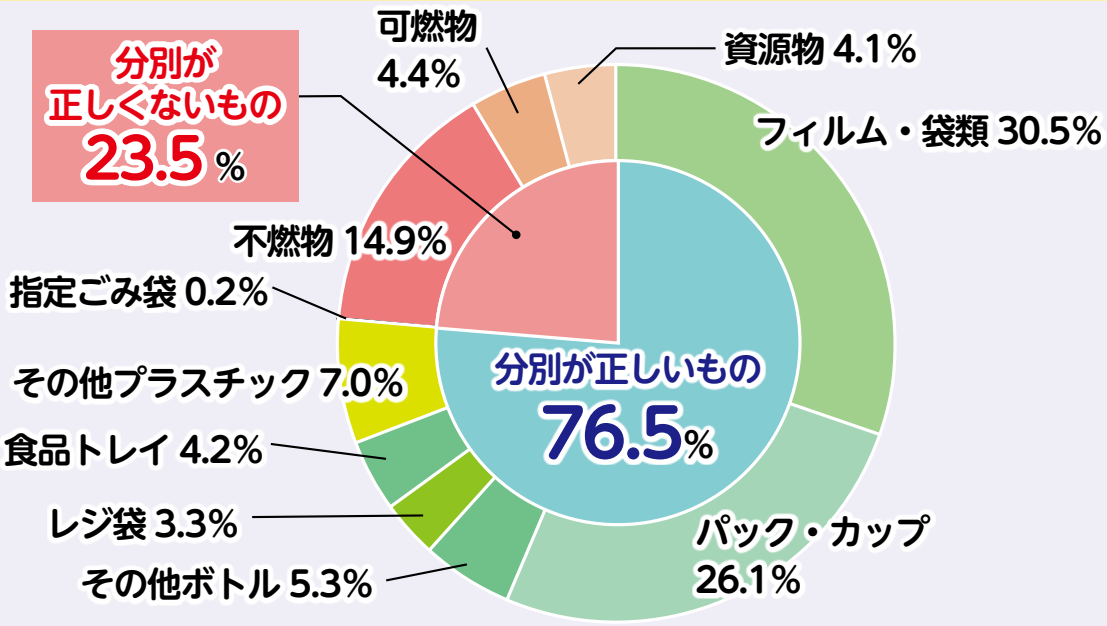
分別が正しいもの

78.6%（年間約 27,604t）
（うち、食品ロス※ 9.5%）
※食品ロスのうち、未利用食品（直接廃棄）5.2%、食べ残し 4.4%

分別が正しくないもの

21.4%（年間約 7,516t）
資源物　10.3%（うち､古紙 8.9%）。
容器包装プラスチック　7.6% など

容器包装プラスチック



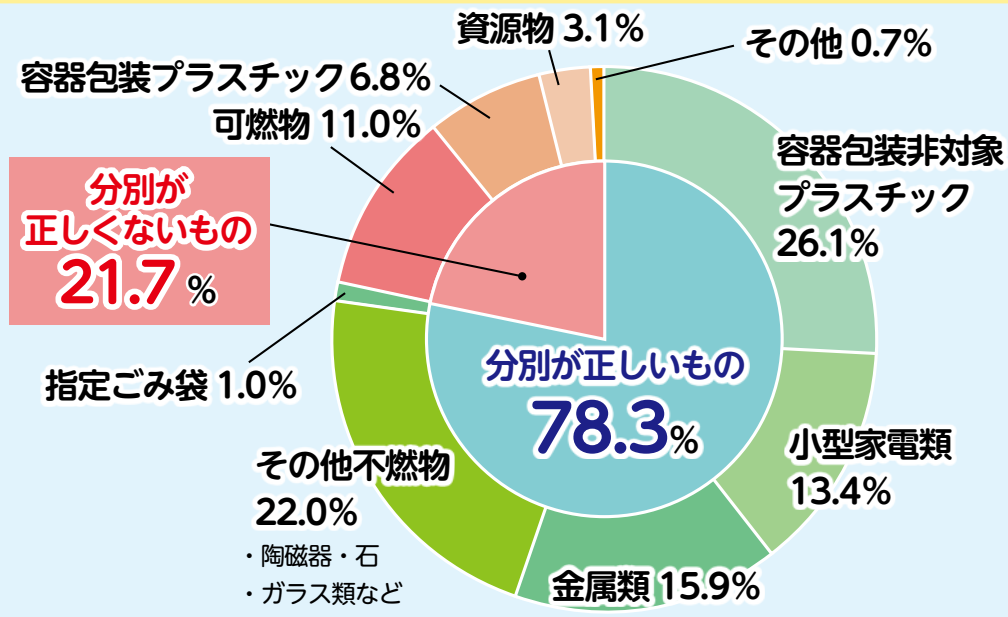
分別が正しいもの

76.5%（年間約 3,252t）

分別が正しくないもの

23.5%（年間約 999t）
不燃物　14.9%
可燃物　4.4%
資源物　4.1% など

燃やせないごみ



分別が正しいもの

78.3%（年間約 2,862t）

分別が正しくないもの

21.7%（年間約 793t）
可燃物　11.0%
容器包装プラスチック　6.8%
資源物　3.1% など

生ごみ堆肥化講習会を開催しました

家庭から出る調理くずなどの生ごみを堆肥化して利用することで、ごみの減量や資源化を推進するため、生ごみ堆肥化講習会を開催しました。

講習会は、有機農産物普及・堆肥化推進協会の会田節子先生を講師にお迎えし「初級編」「アフターフォロー編」「野菜づくり編」の３部構成で、堆肥づくり未体験の方でも理解しやすく実践につながる講習会となりました。

↖ このマークは音声コード「Uni-Voice」です。専用のアプリなどを使って音声データを聞くことができます。